



# 食育通信7月号

毎月19日は「食育の日」です。食育の話題に触れることにより、より食育に親しみましょう。

今月のテーマは…

『生ごみリサイクルについて』です。

家庭やお店から出た食べ残しや、調理時の野菜くずなどの食べなかった生ごみはどのように処理していますか。「生ごみは捨てるだけ」ではなく、有効利用する方法があります。

食べなかった生ごみを、生ごみ処理容器のなかに継続的に投入し、一定の手順を経て熟成を行うと栄養がたっぷりの「堆肥」が出来上がります。この堆肥を用いて、花や野菜の栽培を行うと、生ごみから採れた栄養が花や野菜に渡され、花は元気いっぱい咲いたり、野菜は質の良いものができやすくなります。

## 【食べ物が循環するイメージ図】



堆肥をつくるための生ごみ処理容器・電動機器について、久留米市では補助金制度があります。また、堆肥の作り方についてアドバイザーの派遣を行っております。

各々の詳細については下記のQRコード（市公式HP）から読み込んでください。

購入費補助制度について	堆肥にする方法について
<p><b>生ごみ処理容器購入費補助金</b></p> <p>購入費の3/4(上限6,000円)</p> <p>申込先：お住いの校区のコミュニティセンター</p> 	<p><b>Youtube 動画「コンポストで堆肥づくり」</b></p>  <p>生ごみ処理容器（コンポスト）の使い方をわかりやすく解説しています。</p>
<p><b>電動式自家処理機器購入費補助金</b></p> <p>購入費の1/2(上限20,000円)</p> <p>申込先：久留米市 資源循環推進課</p> 	<p><b>生ごみリサイクルアドバイザー派遣制度</b></p>  <p>市内で活動する10名以上の団体へアドバイザーを無料で派遣し、説明します。</p>

お問合せは、久留米市環境部資源循環推進課（TEL0942-30-9143）まで

食育通信は、食育の日に久留米市ホームページ、久留米市公式LINEにおいて発信します。

食育関連イベント情報は、[久留米公式ホームページ『食育通信・食育イベント』](#)のページをご覧ください。

来月8月号の特集は「栄養バランスのとれたmyお弁当を作ってみよう！」です。お楽しみに。